

エボニック、エポキシ硬化剤生産拠点の電力供給を 再生可能エネルギーに全面移行

2025 年 8 月 7 日

- ・ エポキシ硬化剤生産拠点はすべてグリーン電力で稼働
- ・ 持続可能なソリューションを求めるお客様の声の高まりに対応
- ・ スコープ 1 および スコープ 2 の排出量を年間 30% 削減する計画を通じてエボニックの持続可能性の目標達成を支援

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)は、クロスリンカー部が運営するエポキシ硬化剤生産工場で使用する電力を 100%再生可能電力に切り替えることで、サステナビリティへの取り組みをさらに強化しています。対象となる工場は、ドイツのマール、英国のクレイトン、日本の伊勢原、米国のロサンゼルス、シンガポールの各拠点です。この重要なマイルストーンにより、エポキシ硬化剤生産施設は、スコープ 1 およびスコープ 2 の温室効果ガス排出量を年間で約 3 分の 1 削減することが可能となります。これは、2030 年までに両スコープの排出量を 25%削減し、さらに、2050 年までにクライメイト・ニュートラル(気候中立)の実現を目指すという、エボニックのサステナビリティ戦略に沿ったものです。

クロスリンカー部のグローバル・サステナビリティマネジャーを務めるトビアス・ヴィンクラー(Tobias Winkler)は、「世界中のエポキシ硬化剤の生産拠点がグリーン電力を導入するという今回の決定は、当社のサステナビリティへの取り組みにおいて、またひとつ重要な一歩を踏み出すことができました。再生可能エネルギーへ移行することで、二酸化炭素排出量の削減だけでなく、当社の長期的な気候目標に沿った革新的な取り組みの道を切り拓いています」と述べています。

この取り組みは、エボニックのグリーン電力と持続可能なエネルギー調達に対する強いコミットメントに基づいて実施されています。今年に入り、クロスリンカー一部は、グリーン電力証書取引および再生可能電力供給契約の締結を通じて再生可能エネルギーの確保を開始し、その結果、エボニックのエポキシ硬化剤の生産拠点の稼働は、すべてグリーン電力で行われるようになりました。

エポキシ硬化剤事業部のシニアバイスプレジデントを務めるクリスティナ・ウォルコサック(Christina Walkosak)は、「当社は、持続可能な製品群の強化を継続して行い、エポキシ業界の信頼できる長期的なパートナーとしての地位を確固たるものにしていきます。世界中のエポキシ生産工場で再生可能エネルギーを採用することで、二酸化炭素排出量を削減するだけでなく、お客様の持

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モノリス 12F

www.evonik.jp

続可能性に対する高い要求にも応え、エボニックの環境目標を大幅に前進させます」と述べています。

エボニックのエポキシ硬化剤は、コーティングおよび建設業界における重要な原材料で、高性能複合材料や接着剤に幅広く使用されています。

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、ドイツのエッセンに本社を置く世界的な化学企業です。革新的な強みと最先端の技術的専門知識を組み合わせ、化学のその先を目指しています。100カ国以上で事業を展開し、2024年度は152億ユーロの売上、21億ユーロの利益（調整後EBITDA）でした。業界をリードする力強いパフォーマンスとして、オーダーメイドの製品とソリューションでお客様に決定的な競争優位性を提供します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、約32,000人の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2025 年 7 月 30 日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)